

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
第5回丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会
- 2 開催日時
令和3年8月17日(火)10時00分から12時00分まで
- 3 開催場所
丹波篠山市役所 第2庁舎 3階 2-301・302会議室
- 4 会議に出席した者の氏名
 - (1) 委 員 (敬称略・順不同)
会長 太田鈴子、副会長 五十山田潤、濱口清子、長澤みさ子、
竹田徳成、土性里花、大對礼子、黒田栄、泉より子
 - (2) 執行機関 事務局 人権推進課 麻田英史、奥山直美、松浪友子
- 5 傍聴人の数
2人
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別
公開
- 7 非公開の理由
該当なし
- 8 会議資料の名称
 - ・第5回 丹波篠山市丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会 次第
 - ・丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会委員等名簿【資料1】
 - ・フィフティプラン 第2次男女共同参画プランの総括について【資料2】
 - ・第3次丹波篠山市男女共同参画プラン(案)について【資料3】
 - ・プランの体系表(案)【資料4】

9 審議の概要

(1) 開会あいさつ (10:00)

(会長)

みなさん、こんにちは。今までの検討会で、皆さんの熱い思いがまとめられてきたか
と思います。あと、数回になりますが、本日も皆さんのお力を拝借したいと思います。

(2) 委嘱状交付

新委員の方へ委嘱状交付。

(会長)

新しい委員さんもいらっしゃるので、自己紹介をお願いします。

—自己紹介—

(3) 協議事項

(会長)

協議事項について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) —資料に基づき、説明—

(1) 第2次男女共同参画プラン総括について

(事務局) —資料に基づき、説明—

(2) 第3次男女共同参画プラン(案)について

丹波篠山市DV基本計画(案)の前回との変更点を説明

(会長)

ご意見はありますか。

(委員)

8ページのプランの基本的な考え方だが、基本目標の1で市の真剣さや姿勢を見せてい
くところだと思うが、変えられているのか推進体制が地域全体でという言い回しが気にな
る。

(事務局)

市の考えでは、市全体での事業所や家庭など地域全体にした方がいいのではないかと

内部の協議で変えましたが、皆さんのご意見によっては戻したいと思います。

(委員)

行政だけが旗振りをすればするほど、市民との意識が離れていく。市民一人一人がやっ
ていこうとする思いが大事だ。行政だけで進めて行こうとすると引っ張っていく感じ
になるので、市民がついてこない。地域の中にある「学校」も「家庭」も「事業所」も
「市民みんなでする」という意見の方が、市民に心に響くのではないかと思う。

(委員)

市の姿勢を表していくという思いを伝えるのも大事だと思う。

(会長)

「地域全体」でという文言が気にかかるのではないのでしょうか。

(事務局)

行政の責任を後ろにしているという意味はありませんので、再度文言を考えます。

(会長)

ほかにはありませんか。

(委員)

男女共同参画センターの設置を考えているという言葉が本当にありがたい。資料を基
に色々なものが進められていくと思う。

DVの相談件数が少ないと感じる。周囲が見放したときに、命がなくなることがある。
行政が手を携えて、周りを固めて行かないといけない。

(会長)

ほかにはありませんか。

(委員)

DVの件で、丹波篠山では、身体的なものより精神的なものが多いのではないかと考
える。相談件数も少ないので、自分が我慢すれば、家庭の中がうまくいくのではないか
と考える女性が多いのではないかと考える。学校での教育「性別にかかわらず」という
点で前面に出していかれたらどうかと思う。

(委員)

21ページに「成果指標と目標値」が上がっているが、達成できている場合に、達成しただけでなく、しんどい方や地域の中で困っている人が助けられましたなどの、効果が表れたことなどをまとめていくこともしていただけたらありがたい。管理職で女性が増えたことにより会議でこんなことができるようになったなど、どのような効果が表れたか、地域全体の問題としてPRできる。検証していただきたい。

(会長)

前回のプランで、第1回第2回で達成できていないことに対して、どういうことかという落胆の感情を持った。今回のプランを策定するにあたり、結果としてどういうことが良かったか、悪かったかを付け加えると次のステップに繋がる。ほかにはどうでしょうか。

(委員)

8ページの基本理念と基本目標の文章ですが、「あらゆる分野への」でなく、「あらゆる分野での」ではないか。理念は大きいものがあり、それを達成するために目標を定めた方がいいのではないかと思う。

(委員)

目標を整理されるといい。基本理念は「だれもがお互いを尊重し合い、生き生きと輝きながら自分らしくいきるまち、丹波篠山」なら、男女共同参画社会の中にある目標達成は、基本理念に繋がる整理の仕方だと思う。書き方を整理すると格調が上がってくるのではないか。

なぜ、このように定めて行ったか、市民の意識調査からみる現状と課題の調査結果を反映させてほしい。プランは独り歩きしていく傾向があるので、大事な要素を入れてほしい。丹波篠山市民として、まず市民の認知度を知りたいと思う。社会の男女の平等感について、認知度が低いのであれば、推進体制を作る必要があるということを入れてほしい。

5年たって、男女共同参画が進んだかと感じているかなどデータをいれたらいい。データの精査をすればいいと思う。男は仕事、女は家事育児という意識がどういうふうに変ったかデータを入れられたらどうでしょうか、賛否が拮抗していますという表現では分かりにくいと思います。いい傾向かどうかわかりづらいので、国のデータを引用されるといいと思う。国なら、35%が賛成、半数が反対していますが、丹波篠山の反対は少ないのではないかと感じる。地域全体に男女共同参画の意識がついていないことから、1番に「意識を高めよう」と2番に「定着」を入れられたのだと思う。

全体で足されるのもいいかもしれません。男女共同参画を仕事にしていた者としたら、賛成と反対が入れ替わった歴史的に感動的なデータになる。

5ページの夫婦の役割分担についての「生活費」と「家事」のデータは、丁寧なものにされるといい。生活費を主に男性において、家事は夫婦同程度だと女性が我がままと思われぬか、データを工夫してほしい。国や県と比べるのもいいと思う。

そうなりとやはり象徴の場となる男女共同参画センターが必要だと感じてもらえるのではないかと考える。せつかく調査をしているのでデータを活かしてほしい。

(会長)

市民一般で、初めて見る方が「これはどういうことか」と分からないものでも、説明が丁寧であったら理解できるのではないかと考える。いいものができるといい。

(委員)

資料で「生活費」が主に夫という人が全体では52%あるが、若い人は性別役割意識が薄くなっているとデータがある。でも、18-29歳の女性はバリバリ働いている。30代以上になると、結婚され子育てがあり、再就職しにくいという方もあり、雇用形態の問題ではないかと感じる。奥にあることを見抜いていくことの大切さを感じた。

(会長)

ほかにありますか、ないようですので、第3次プランの体系表について説明をお願いします。

(事務局) —資料に基づき、説明—

(会長)

わかりやすくしていただいているが、皆さんの意見は。

(委員)

生涯にわたる①男女共同参画意識の浸透と定着というコンセプトだが多様な選択を可能にとなっており、長期的なプランになっているので次世代がとても大事だと思う。②総合的な推進体制の強化とあるが、男女共同参画センターの拠点設置が1番にあがっている。男女共同参画センターの拡充の市広報への啓発記事の掲載の再掲とせず、センターが発行した広報を関係団体といかに一緒に協働して市民に届ける体制をつくるかという方がいいのではないかと。

私も女性活躍推進法の法律ができ、個別に商工会議所、青年部会に回り、法律が変わったことを知らせて回った経験がある。丹波篠山市は庁内の所管の体制はできているが、広報を定期的に男女共同参画を市を挙げて取り組むのであれば、仕組みについて推進体制を作っていただけたらと思う。高齢者は色々な団体があるので届けやすいが、若い人にも届くもの、推進体制のようなものを作ってほしい。

(委員)

男性の家庭参画について、介護への参画が、この体系を見ていると欠けているのではないかと思う。商工会の仕事もしているが社協のヘルパーの仕事もあるので、そう感じ取った。

(事務局)

男性の参画について、介護の部分が欠けているので、41介護保険事業における安定的な介護サービスの確保と提供の欄で入れさせていただくこともできると考えます。

(会長)

男性の介護職員の比率は分かれますか。

(委員)

介護施設を含めてとなると、分からない。

(会長)

愛育班の研修で、女性は家庭にいる時間が多いので、講師として来ていただいていた方に聞いたが、介護する側は女性がいいのではと言われて、何とも言えない感じで終わったが、女性が介護をするという状況で男性も介護に関わりやすい形を作ってもらえると理解がしやすいのではないか。

丹波篠山は昔はこうしていたという意見が多い。私も自治会長をしているが、地域性で自治会長の仕事が違って来る。私の自治会では、農家の方と非農家の者は、半々になってきた。昔からこうしてきたとよく言われるが、変えて行かないといけないことは、変えていきたい。誰も女性が自治会長ができるかと言われると難しいし、二の足を踏む。まだまだ、勉強中である。

(委員)

資料3のプランの体系表、9ページのSDGsのことを具体的に教えていただきたい。

(事務局)

他市を参考にして各基本目標にあてはめました。SDGsについて、用語解説を資料の中に入れます。

(委員)

9ページで表の項目名が「取組内容」となっており、体系表では「取組項目」となっているが、合わせていかれてはどうか。できるだけ、項目は揃えていくといいと思う。

(委員)

取組項目4番、男女共同参画推進委員の活動を強化しますというのを、活動そのものを強化というよりは連携を強化というべきではないのか。

14番の多様性を認めるという表現が上から目線になっているので、訂正願いたい。

(事務局)

「認める」を「理解する」に訂正します。

また、介護については長寿福祉課と相談したいと思います。

(会長)

その他お願いします。

(事務局)

次回、最終案をまとめたいと思っています。

9月中に市長に答申を考えており、議会にもプランの案を報告、10月にはパブリックコメントを実施、12月にその結果をホームページに掲載し、来年2月から3月にプランの冊子・概要版を印刷し配布する予定としています。

(会長)

最後、閉会のあいさつを副会長お願いします。

(副会長)

本日熱心に協議いただきありがとうございました。会は積極的に意見も出て感心しています。第2次プランのアンケートの結果を見て、進んでいなかったのでは、進めてほしい何とかしないといけないという意見を受けて、次回第3次プランが花を咲かせられるように何とかしないといけないという危機感があり、熱心な意見の場となっているのだと思います。

意識調査にあった40代の女性の方の意見が気になっています。私は男性として生まれたかったと書かれていました。そういう思いをされる社会ではいけないと思います。

次回は最後のまとめの会にしたいと思っております。それでは以上をもちまして、第5回の委員会を閉会とさせていただきます。長時間お疲れ様でした。